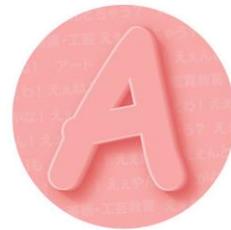


## 大会テーマ

## すべては「A」からはじめよう

美術・工芸教育のイノベーションを考える ～ 過去→現在→未来 ～



## ●大会概要

2026大阪大会は【すべては「A」からはじめよう 美術・工芸教育のイノベーションを考える ～過去→現在→未来～】をテーマに、過去・現在・未来を切り口にした3つの分科会で、私たちのこれまでを振り返り、今の教育活動を発展させ、これからどのように美術、工芸教育を展開させるのかを考えます。テーマに掲げた「A」はアルファベットの最初の1文字、スタート地点であると同時に、大阪弁で良い、GOODを表す「ええ」という意味も込めています。さらに「A」からはじめようは初心に立ち返ろうという意味と、あれこれ考える前に、まずは動いてみようという、これも大阪弁の「ええからはじめよう」の思いも込めたテーマです。

美術・工芸は多様なものの見方、多様な価値観を学ぶだけでなく、モノづくりの楽しさや、そのプロセスで味わう苦労や達成感、他者の作品を鑑賞して気付く自分にはなかった視点など、様々な学びがあります。さらに、ICT機器が当たり前になり、生成型AIも爆発的なスピードで進化を続けている今、改めて過去を振り返り、現在を見つめ、未来を展望する大会になればと考えています。

- 目的 全国高等学校美術、工芸教育の充実と振興を図る
- 主催 全国高等学校美術工芸教育研究会／大阪府高等学校美術・工芸教育研究会
- 後援 大阪府／大阪府教育委員会／大阪府高等学校芸術文化連盟／公益財団法人日本教育公務員弘済会大阪支部
- 参加者 各都道府県高等学校・中等教育学校・特別支援学校の教職員 及び関係者
- 会期 令和8年10月22日(木) 23日(金) ※集合型のみでの開催
- 会場 大阪成蹊大学 駅前キャンパス  
〒533-0007 大阪府大阪市東淀川区相川3 丁目10-62 (最寄り駅 阪急電車 相川駅 徒歩2分)
- 参加費 6,000円(予定)

## ●大会日程(予定)

	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	
1日目			受付	都道府県 代表者会議 (60分)	開会式・総会 (70分)		開催引継ぎ会 (45分)		情報交換会 (120分)	
							協賛・ワークショップ(120分)			
2日目	9:30 受付	10:00 基調講演 (90分)	11:00 休憩 (60分)	12:00 分科会 (120分)	13:00	14:00	15:00 全体会 (30分)	16:00 閉会式 (30分)	17:00	18:00

## ●記念講演 京都芸術大学教授 ヤノベケンジ氏

## ●第1分科会 Archiveでおわらない【過去】

美術・工芸の世界にもデジタルの波が押し寄せ、アナログな手法はデジタルに相対する、別のものという認識になっていないか。ICT教育先進国が脱ICTを決断したニュースもある今だからこそ、美術教育におけるアナログで得られる教育的効果やその必要性を討議する。

## ●第2分科会 Art思考と鑑賞教育【現在】

「Art思考」(新しい価値観の発見・課題の気づきや問題提起)や、「Design思考」(デザイン的な構想や問題解決の提案)が、ビジネス分野の流行語のように使われる中、それをどのように学び、本質的な在り方を確立すればよいのか。鑑賞分野での学びと紐づけて教育的効果やその重要性を討議する。

## ●第3分科会 AIと共に【未来】

進化の勢いが止まらない生成型AIはすでに様々な場面でその有効性が明らかになっているが、ゼロから1を生み出す美術・工芸の世界では、生成型AIはどのような存在になるのか。作者のツールなのか、アドバイザーなのか、ライバルなのか。生成型AIがもたらす様々な未来について教育的効果やその可能性を討議する。

※各分科会での発表者を募集します。各テーマの正式決定後、各研究会を通じて詳細を別途ご連絡します

- お問合せ 第63回全国高等学校美術、工芸教育研究大会〈2026大阪大会〉  
実行委員会事務局 大阪府立港南造形高等学校 指導教諭 内藤さや  
Email T-NaitoS@medu.pref-osaka.ed.jp  
〒559-0031 大阪市住之江区南港東2-5-72 TEL06-6613-1000

2026大阪大会の  
詳細はこちらから